



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年05月28日 第871号「週刊五十嵐レポート」

日大アメフト部から組織を考える

日大アメフト部の事件(危険タックル)により、内田前監督の絶対君主的専制政治を行っていたことが明るみになった。そのように組織を運営する「組織体」は日本に数多くあると思う。過去の東芝もそうだったし、財務省も同じ。

危険なことは、目的を達成するために、手段を選ばないこと。そしてその命令・指示に逆らえないこと。目的を達成するために、上司は脱法・違法などの逸脱した行為を部下に強いる。部下に「ノー」と言えない雰囲気がある。

私も前職の会社に入りたてのとき、上司から外部への私文書偽装(数字の書き換え)の指示があった。そのとき、前任者はここで辞めたんだと察知した。私は、アホになりきり何とか脱法行為をしないで事なきを得た。絶対的なトップが存在する組織体に、目的を達成するために、手段を選ばない危険はどこにでもありうる。

本当に内田前監督は、「つぶせ(怪我をさせる)」と指示を出したのだろうか。この事件がなければ、絶対君主的専制政治を続けることができた。それを手放してまで、練習試合で事件を起こすだろうか。日大アメフト部の組織は3階建。トップ コーチ 選手。中間管理職のコーチが監督の指示を拡大解釈して選手に指示したことはないだろうか。

前職の会社勤めのときに、私は管理職経由でトップから仕事の指示があった。私はその意図がよく解らなかったので、直接トップに確認した。すると管理職から聞いた内容とトップから聞いた内容が微妙に違っていた。そのお陰で仕事のミスは未然に防げた。組織は2階建から3階建になるとトップと現場の間に管理職が入る。ここでコミュニケーションが悪くなるが多々ある。

日大アメフト部の真逆の組織を運営しているのが9連覇中の帝京大学ラグビー部の岩出雅之監督(第855号参照)。1. 脱・体育会系の組織。3年、4年の上級生が雑務係・掃除係を担当。下級生は安心して部活・勉強に専念できる。2. コミュニケーション力。上級生が下級生から話を聞く。自分の伝えたいことを相手に言わせる。瞬時に意思伝達ができる。

日大アメフト部事件を感情ではなく、理性で分析してみる。

ちょっと
気になる出来事

5月20日付、日経新聞「無人店 中国を席卷」という記事。

中国でレジなどに人を配置しない「無人」サービスが広がっている。ネット通販最大手、アリババ集団は外食企業と組みレストランやベーカリー店を展開。ホテルやカラオケボックスにも広がる。

中国が日本以上のスピードで実用化が進む背景は、1. スマホ決済。既に利用者は全体の7割に達し決済額は約660兆円。2. 従業員サービス。中国では従業員サービスに期待していない。無人のほうがいい。

日本は、まだ現金決済が主流。従業員の接客サービス力が強い。

セブン&アイホールディングスの株主総会でも社長が「お客が来るのは暖かい接客サービスがあるから」と当面は静観。

中国と日本にはギャップがある。しかし、あっという間にキャッシュレス時代は来る。セブンもどうなるか、解らない。



一口メモ
知識

先は楽ではない

勉強も仕事も子育ても、大変だ、苦しいのだと感じる人がいる。

そのとき、いま苦しくても先は楽だと思って頑張るのです。

しかし、先は楽でしょうか。

勉強は苦しいと思った人は、それを終えて仕事をするようになったら、勉強よりも仕事のほうが苦しいということを実感するのです。

ですから、歳を経ると「昔はよかった」という人間になるのです。

我々は「先の楽」というニンジンに惹かれるのではなく、

一つひとつの問題を解決することを楽しみにすれば、

「いまは楽しい」という人生を過ごせるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

